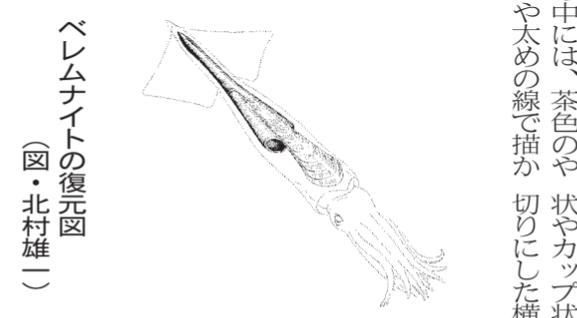
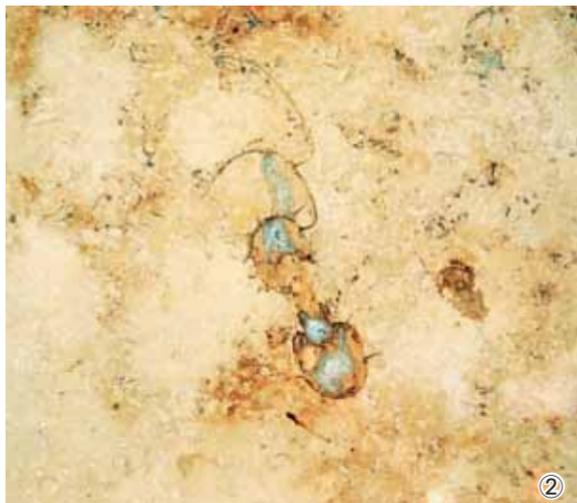
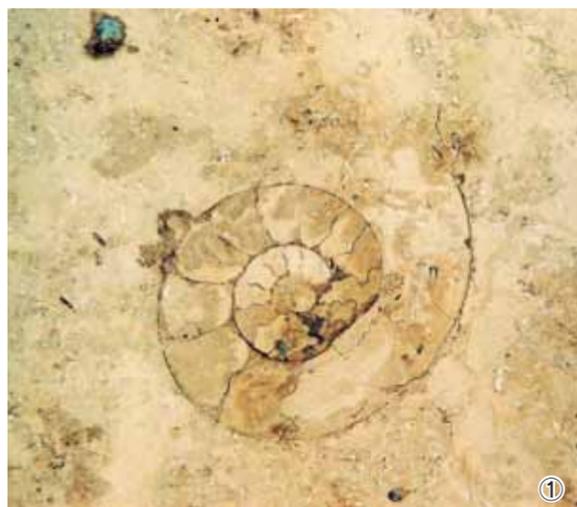


昭和天皇記念館の壁に化石!

昭和天皇記念館の中には化石がたくさんあります。といっても展示されているわけではなく、今日の主役は、展示室の壁です。ここには、南ドイツ産の「ジュラ・イエロー」と呼ばれる石灰岩がはめ込まれています。名前にもあるように、この石灰岩は陸上では恐竜、海中ではアンモナイトが栄えたジュラ紀の地層(約一億五千万年前)から切り出されたものです。この石灰岩は熱帯の浅い海で形成されたもので、アンモナイト、ベレムナイト(イカの仲間)、カイメンなどの化石がたくさん含まれています。生物学の研究者でもあられた昭和天皇にふさわしい設計の記念館です。

まず、アンモナイトをの自由泳に泳いでいた探してみよう。クリの殻の模様がある(写真①)。これがアンモナイトです。正確にはアンモナイトの殻を縦に半分切った断面です。よく見ると、内部は仕切りによって多くの小部屋に分けられています。ただし、最後の半巻きから一巻きくらいは仕切りがありません。実は、この最後の部分にアンモナイトの軟体部が入っていて、内側の小部屋にはガスが入っていたと考えられています。小部屋は浮袋として働き、呼吸のために吸い込んだ水を噴射して、海



これまで螺旋状の模様を手がかりにアンモナイトを探してきましたが、実はアンモナイトの殻は断面の形がどのようになっているかを考えながら展示室の壁をみると、壁に切り方によって断面の見え方が大きく異なります。縦に半分切った断面(写真①)は、茶色のやが太めの線で描かれたV字形に見えます。同じようなタイプは、カップムカブセルは最近、街のあちこちのビルの壁や床でみかけられるようになりました。ぜひ、立ち止まって、化石を探してみてください。

◆国営昭和記念公園メモ
 ☆入園料 大人(15歳以上) 四百円、小中学生(6~14歳) 八十円
 ☆開園時間 昭和天皇記念館と同じ
 ☆休園日 12月31日・元日 2月第4日曜日とその翌日
 ☆アクセス 入口は立川口、西立川口、昭島口、



●昭和天皇記念館メモ
 ☆入館料 一般五百円(三百五十円)、大学生・高校生三百円(二百円)、中学生・小学生百円(七十円)、幼児は無料。(内は20人以上の団体料金。心身障害者とその介護者1人は無料(障害者手帳等を提示いただきます))
 ☆開館時間 9時半~16時半(3月から10月末は9時半~17時)、入館は閉館の30分前まで
 ☆休館日 月曜(月曜が休日の場合は直後の平日。1月7日は臨時開館。年末年始(12月31日・元日)、2月第4日曜日とその翌日)
 ☆アクセス 東京の新宿 042・540・0429

恐竜時代の記録



重田 康成

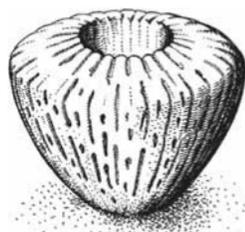
国立科学博物館 研究主幹

この断面の形がどのようになっているかを考えながら展示室の壁をみると、壁に切り方によって断面の見え方が大きく異なります。縦に半分切った断面(写真①)は、茶色のやが太めの線で描かれたV字形に見えます。同じようなタイプは、カップムカブセルは最近、街のあちこちのビルの壁や床でみかけられるようになりました。ぜひ、立ち止まって、化石を探してみてください。

この断面の形がどのようになっているかを考えながら展示室の壁をみると、壁に切り方によって断面の見え方が大きく異なります。縦に半分切った断面(写真①)は、茶色のやが太めの線で描かれたV字形に見えます。同じようなタイプは、カップムカブセルは最近、街のあちこちのビルの壁や床でみかけられるようになりました。ぜひ、立ち止まって、化石を探してみてください。



カイメンの復元図 (図・北村雄一)



目を向けてみましょう。目を近づけて見ると、幅が1ミリにも満たない白い細長い管状や粒状の模様が一面に見られます(写真⑥の円内など)。これはゴカイなどの小さな生物が泥の中に潜ったリ這ったりしてできた痕です。生痕化石と呼ばれる。この石灰岩は熱帯の浅い海で形成されましたが、当時の海底の泥の中には化石には残らない小さな生き物がたくさん住んでいたことが想像されます。